

ヴォーカル  
グレース・マーヤ



日本JAZZヴォーカル界において今最も注目を集める「グレース・マーヤ」を迎えて、福田重男スペシャルカルテットの心地よいピートをお楽しみください。



©M.Nekoyama

ベース  
大塚義将



©Chieko Ishida

サクソ  
浜崎 航



ドラム  
奥平真吾



ピアノ  
福田重男

【主催】(公財)玉村町文化振興財団 TEL0270-65-0600  
(9:00~17:00 月・祝休み) <http://www.tamamura-bunka.or.jp>  
【後援】(株)クレッシェンド TEL027-343-9945

# ENJOY

エンジョイジャズ

# JAZZ

福田重男スペシャルカルテット  
&グレース・マーヤ

2019.7.7 日

※未就学児の入場はご遠慮ください。

会場 玉村町文化センター  
『大ホール(にしきのホール)』

時間 開演 15:00 (開場 14:30)

チケット 全席自由 2,500円(高校生以下1,000円)  
チケット発売日●4月13日(土)

窓口発売9:00 電話予約13:00

予定曲目 マイファニーバレンタイン、  
フライミートゥーザムーン ほか

## Member Profile

### グレース・マーヤ -vo-

3歳からクラシックピアノを始め、インターナショナルスクール高校卒業後、ドイツの音楽大学、大学院に留学。2003年帰国後は、ジャズ&ブルースをルーツにする実力派ピアニスト兼シンガーとしてライブ活動を国内でスタート。愛くるしいキュートなルックスと持ち前の親しみやすいキャラクター、そして低音の魅力を発揮したセクシー・ハスキー・ヴォイスは多くのファンを魅了している。2006年10月にソニーからメジャーデビュー、Daiki Musica、キングレコードと現在までに8枚のアルバムを出し、世界中で音楽活動を続けている。

### 福田 重男 -pf-

前橋市出身高崎市育ち。学生時代に東京に進出し1980年にプロ入り、JAZZフュージョンを中心にマルタHit&Run、向井滋春、他内外問わず数多くのミュージシャンのセッション、レコーディングに参加。リリカルかつグルビーなピアノで人気を博す。1998年のロン・カーター(bs)とのデビューアルバム「Blessings」を始め、現在迄に7枚のリーダー・アルバムをリリースし、最新作は昨年11月にリリースした浜崎航(ts, fl)との「Rachel's Lament」絶賛発売中。 <http://shigeofukuda.cool.coocan.jp>

### 浜崎 航 -sax-

1977(S52)年長崎県生まれ。セルマー社野中貿易50周年記念野中サクソフォンコンクールジャズ部門にて第1位受賞。2012年自己の主宰する「Encounter」にてアメリカカリフォルニアで行われた55th Monterey Jazz Fesに出演。フジロックフェスティバル、東京ジャズ、東京ブルーノート等に出演。現在世界に誇る石森管楽器のオリジナルサクソのエンドーサーも務め楽器開発にも関わる。また医師免許、潜水士免許、一級船舶免許を持つという異色の経歴も多方面からの注目を集める。またフルーティストとしても高い評価を得ている。

### 奥平 真吾 -dr-

1966(S41)年東京都出身。9歳の時にジャズクラブのセッションに於いてドラミングを披露、11歳(1978)の時に「処女航海」でレコードデビューする。24歳(1991)でニューヨークへ移住。カルロス・ガーネットを始め、多くの著名グループで活躍する。2010年に帰国。ピュアなジャズドラマーの第一人者として知られ、そのワールドワイドな活動は衆目の一致するところである。現在は自己のユニットを中心に、幅広く数々のグループでも活動中。1978年のデビューアルバムから現在までに6作品をリリースしている。

### 大塚 義将 -bs-

1986(S61)年群馬県出身。13歳からギターを始め、15歳からベースを始める。専修大学ではビッグバンドサークルに入学し、ジャズに触れる。特にベーシストのRay Brownの演奏には強く感銘を受け、独学でジャズを学ぶ。後に大学の「MJAPブルーコーラル」に転部。ジャズのハーモニー、アンサンブル等多くのことを学び、音楽の考え方や演奏スタイルはこの大きな影響を受けている。2010年、2011年にはCarl Allen(ds)と共演。2018年1月にはJason Lee Bruns(ds)とのツアーのため渡米。現在も都内を中心に精力的に演奏活動を行っている。